

～コメンテーターご紹介～

加藤 浩徳

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授

<略歴>

- 1993年 東京大学工学部土木工学科卒業
- 1995年 東京大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
東京大学大学院工学系研究科助手
- 1998年 財団法人運輸政策研究機構調査役
- 1999年 博士(工学)授与[東京大学]
- 2000年 東京大学大学院工学系研究科専任講師
- 2004年 同助教授
- 2013年 同教授
- 2016年 日越大学社会基盤プログラム共同主幹を兼務。現在に至る。



研究分野は交通計画, 交通政策, 交通経済学, 交通経営で, 最近は国際交通学, 国際プロジェクト学に研究分野を展開。Outstanding Paper Award at the Emerald Literati Network Awards for Excellence, 日本交通学会賞, 米谷・佐佐木賞, アジア交通学会(EASTS)Best Paper Award等を受賞。交通政策審議会や政策評価審議会の専門・臨時委員をはじめ, 多数の委員会委員を務める。国際関連機関の業務にも多く携わる。国内外での講演多数。国際学術誌であるAsian Transport Studies誌の編集長なども務める。最近の著書に, "Developing Airport Systems in Asian Cities: Spatial Characteristics, Economic Effects, and Policy Implications" (Asian Development Bank, 2022)などがある。